

耐震補強工事とは、

必ず現況の建物の精密耐震診断を行い、その結果に基づいて、補強案を作成します。補強案は採用する工法や目指す性能ランクにより、何パターンか考えられます。専門家と相談しながら、必ず内容をご自身でご確認して下さい。

耐力壁の補強

「耐力壁が少ない」、「耐力壁の配置が悪い」場合に、壁量を補い、バランスを補正するために耐力壁の増設、補強を行います。耐力壁の増設・補強の代表的な工法を紹介します。



筋交い



構造用合板



ダイライト(耐震かべ)



外付ブレース

接合部の補強

引抜き力のかかる柱に接合補強金物(ホールダウン金物)を設置します。壁を剥がして設置する工法と、外付の工法があります。



外付ホールダウン金物



同クランク用



同高基礎用



同入り隅用



内付ホールダウン金物

その他の補強

布基礎のひび割れは、放置すると建物に影響が出たり、鉄筋が腐食したりします。状況により補強方法も異なりますが、専門家と相談して、補強しておきましょう。



基礎補強



同換気口用



マメ知識

悪徳業者に騙されないためのポイント

- ①床下や、屋根裏だけに金物補強を進める業者。
- ②「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づいた耐震診断書を提出しない業者。
- ③診断調査して、その場ですぐ補強提案、補強工事を薦める業者。
上記のような業者は、おおよそ要注意の悪徳業者です。